



# 七福人



**＝会長指針＝**

## 未来につなげよう

・ ・ ・ 例 会 記 録 ・ ・ ・

2月第2週例会 2020年 2月13日(木)

ソング： 我らの生業                      ボックス： 27,000円    (報告者 佐藤 良会員)

**お客様紹介** : 劇団わらび座 椿 康寛 様

本日出席率 : 64.71% 前回修正後60.78% (メークアップ1名) (報告者 木下彰則会員)

## ★ 劇団わらび座 椿 康寛 様



2月24日(月)にミュージカル「ジパング青春記」がリアスホールで行われます。  
是非、ご覧になって頂きたいと思います。  
また、今年卒業の大船渡市出身の子が劇団わらび座に入団します。

★ 会長の時間 : 鈴木信男会長



私は会長として、職業人としての生活、家庭人としての生活と時間を割かなければならない、というプレッシャーをロータリアンが感じることはありません。これには理由がいくつかありますが、その一つは、ロータリーでは、職業人として行う活動も、ロータリーとして行う活動と同じように重要だからです。私たちがいつでもどこにいても、ロータリーの理念は私達と共にあります。そして、職業上の成功は、職場で働く毎日の中でロータリーの素晴らしさを伝えるものとなるのです。

これは特に、若い人々をロータリーに招き入れる上で大きな意味があります。よりロータリアンであることと、良い親である事、良い事業化であること、良い管理職であること、良い従業員であることそのいずれかを選ばなくてもいいロータリーをつくりたいのです。多忙な若い世代に入会を求める際、時間や自由を犠牲にすることを求めてはなりません。ロータリーの活動は、彼らがすでにしていることが、より一層意味深いものとなるような体験であるべきです。

よりバランスの取れたロータリーには、ほかの利点もあります。様々なロータリアンやローターアクターが、プロジェクトや委員会で役を引き受ける機会が生まれます。クラブ活動に積極的に参加するようになり、一生ロータリアンであり続けるインスピレーションが得られます。

ロータリーは職業奉仕、および職業上の人間関係の中で私たちが実践する伝統的価値観により、世界中で尊敬を集めています。ロータリーの成長を促す中で、入会候補者への壱番のセールスポイントは職業奉仕であることを忘れてはなりません。

ロータリーは世界をつなぎます。そして、ロータリーの職業奉仕をより多くの業種、より様々なライフステージにある人々に知らせることで、ロータリーはさらに成長し、より強く、多様性に満ちていくのです。

＝Rの友一月号 RI 会長メッセージ＝

## ◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

- 1 ガバナー事務所より 地区大会開催に伴う広告協賛のお願いが届いています。

大会プログラムへの広告掲載 金額 2万円か5万円 締切り 3/6

- 2 大船渡市 I L C 推進協議会より 第6回グリーン I L C セミナー開催案内が届いています。

日時 3月10日(火)午後2時～4時30分 会場 住田町農林会館 締切り 3/10

- 3 暴力団追放大船渡市民会議より

昨年10/21開催の暴力団追放大船渡市民大会の記事が掲載された暴追いわて77号」が届いています。

## ◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

### 創立50周年へむけ 経過報告



#### ★ 水野賢一幹事

各委員長より報告願います。報告を聞いたうえで皆さんの意見がありましたら、どんどん発言して頂きたいと思います。これからもご協力よろしくお願いします。

#### ★ 熊谷雅也総務委員長

- ・ 今週初めに案内状発送終了
- ・ 奥様方へのお手伝いのお願い文書も発送しておりますので、皆さんからもお願いしてください。
- ・ 当日のお土産等は未定
- ・ 記念誌発行の為、当日3人で写真撮影。記録用として、ビデオ撮影  
記念誌は、8月中旬完成を目途にしています。

★ 古内一二式典委員会副委員長

2回委員会会議を実施し、開会から閉会迄の内容は決定しています。

これから各委員会とも相談し、人員の配置などを決定していきますのでご協力お願いいたします。



★ 浜田浩誠懇親会委員長

懇親会は、東高校の太鼓・千田会員令夫人の踊りで幕を開け、途中濱守栄子さんに歌っていただきます。当クラブの七福神・チンドン・鏡開き等色々な案が出ていますが、時間の問題・スペースの問題等があり検討中です。皆様に良い意見がありましたらお申し出ください。

(濱守栄子さんからアルバム作成への協力を依頼されている経緯もあり、その協賛金を出演料に充てる事としました。)

★ 金比呂正記念事業委員長

4回委員会を開催し、皆さんからのアンケートをもとに検討。秋刀魚のモニュメントを設置しようかと思いましたが、縁あって書家金澤翔子さんの書「共に生きる」を寄贈頂けることになりましたので、復興絵の思い等も込め、大船渡防災センター内に書を飾るとともに、石碑に刻みこれをセンターの庭に設置する事といたしました。その他に桜の植樹も行います。

★ 門田崇実行委員長

皆様のご協力により、全体の形が整いつつあります。これからは、細部を詰めながら良い50周年にしたいと思います。さらなるご協力お願いいたします。